

日米軍事同盟打破、基地撤去 2012 年日本平和大会 in 東京成功に向けた呼びかけ

— 東京から日本と世界に平和と民主主義の発信を —

2012 年 3 月 16 日 第 2 回実行委員会

2012 年日本平和大会が、11 月 23 - 25 日に首都・東京で開かれます。日本平和大会は、広範な労組・平和・民主団体が実行委員会をつくり、米軍基地や日米軍事同盟のない、憲法 9 条をいかした平和な日本を願う人ならだれも参加できる集いです。大会には世界各国の代表も参加して、国際的な交流と連帯も行われ、1986 年以来毎年秋に開催されています。

昨年の沖縄での大会は、日米政府を追いつめている新基地建設反対、普天間基地撤去の県民ぐるみのたたかいとの連帯を広げました。大会には、韓国、フィリピン、ハワイ、グアム、パラオ、マーシャルから 15 人の代表が参加し、基地のない平和なアジア太平洋をめざす交流を深めました。また、原水爆禁止世界大会とともに、青年が平和運動に参加し、成長する重要な機会となってきました。

イラク反戦集会を行った 2002 年以來 10 年ぶりとなる今回の東京開催は、日本の平和にとって大変重要な時期にひらかれます。

野田政権が、自民党を上回るほどの国民のくらしと安全を犠牲にする政治をすすめるなかで、多くの国民が不満と怒りをつのらせています。「消費税あげるな」「TPP 参加反対」「なくせ原発」「米軍基地なくせ」「核兵器の全面禁止を」の声と行動がひろがっています。一方、現状をなんとかしたいという国民の思いを逆手にとって、ファッション的ともいえる危険な流れに注目が集まる状況も生まれています。彼らは憲法 9 条をなくし、軍備増強まで主張しています。

いま、日本は大事な岐路にあります。来るべき日本平和大会の大きなテーマは、この状況をどうしたら平和と民主主義の方向で打開することができるのかということです。

そのカギの一つが、日米関係のあり方です。

沖縄県民の声を踏みにじる新基地建設の押しつけ。グアムなどへの米軍基地建設費用の負担。米軍への「思いやり予算」や膨大な軍事費の一方での消費税増税や社会保障改悪、農漁業をはじめ日本の経済を破壊する TPP（環太平洋経済連携協定）参加や原発再稼働。さらには憲法 9 条改悪をめざす動き。これらは、財界とともにアメリカの要求を優先する政治がもたらした結果です。いまそのことが鮮明になりつつあります。そして、この根底にあるのが日米軍事同盟、日米安保条約です。

それだけにいま、平和大会がめざしてきた運動を大きく発展させることが求められています。首都・東京で開かれる 2012 年日本平和大会は、日本の現状に疑問や憤りをもつすべての人々とともに、異常な日米関係をただし、米軍基地も、日米軍事同盟もない、平和で安全な日本をつくる展望について、大いに語りあい、考え、学び、交流しあう場としていきたいと思ひます。そのため全体集会とともに基地問題からくらしまで、多彩なテーマの分科会が開催されます。

この大会は、世界でひろがる「格差反対」「自由と尊厳」をかかげた市民の行動と連帯し開かれます。中国や北朝鮮の「脅威」への「抑止力」が叫ばれるもとの、どうすればアジアの平和をつくれるのか、アジアの外交官や平和運動の代表を招き議論する、大規模な国際シンポジウムも行います。

首都圏には、人口密集地で爆音をまき散らし、日米の戦争司令部として強化されている横田基地や原子力空母の母港・横須賀基地はじめ、米軍基地が異常な形で集中しています。普段目にする事ののない米軍基地の実態調査も大会参加者とともに行います。

この大会を多くの人々の手によってつくりあげていきたいと思ひています。そして、首都東京から全国と世界にむけて、平和な日本とアジアをめざすメッセージを発信する大きな集会として成功させようではありませんか。青年をはじめ平和を願う多数の人々の参加を広げましょう。そして共に学び、交流し、平和な日本とアジアをつくる展望を開いていきましょう。